

## 丹沢・権現山 マスキ嵐沢（大田山の会の公開山行に参加）

期日： 2015年6月21日（日）

コースタイム：大滝橋バス停 9：15→（林道・一般登山道）→マスキ嵐沢入渓点（入渓準備）9：45～10：15→権現山・畦ヶ丸間の尾根 13：35→西沢 14：10→西丹沢自然教室 14：30

メンバー：S.K、会員外（大田山の会公開山行参加者）19名、計 20名

山行報告：大田山の会（東京都労山）の公開山行に参加させて頂き、丹沢・権現山のマスキ嵐沢に行きました。ガイドブックには「初心者入門コース」と書いてあったので、安心して参加申込をしたのですが、すごい滝がいっぱいあり、「楽しかった」と「怖かった」のを一緒に味わうことが出来ました。

天気予報は雨だったので中止かな？残念だな。と思っていると、「雨の予報ですが、いずれにせよ沢で濡れるのだから明日は決行いたします」との連絡がリーダーから届いてバンザイ。

荷造りを確認して、前夜は早く寝る。集合場所の新松田駅に遅刻しない様に、朝一番の東武東上線に乗る為に 3時に起きる。予定の電車に乗り少し早く集合場所に着くが、もう数人が待っていてくれた。

バスは空いていて、直前に到着した人も全員座れた。真夏はもっと混むのかな？いや、この天気予報だから登山者が少ないのだろう。大滝橋バス停留所から雨カップを着て歩くが、入渓点まで歩くので汗びっしょりになった。濡れるのは覚悟の上だが、入渓前に「連れて行くのはちょっと無理なので、ここでお帰り下さい」と言われぬ様に必死で歩いた。「雨カップは濡れても重くならないので沢で寒い時は着ると良い」との先輩のアドバイスを実践した、でも沢でやぶれると高くつくので百元ショップのビニールカップを持参したのだが、今回はあまり寒く無かったので、入渓前に無駄に汗をかいたのと、休憩時の防寒だけにしか、今回は役に立たなかった。

入渓点で、3パーティに分かれ入渓準備と、一般参加者の装備のチェックなどが行われた。事前に配布された計画書にも記載されていたが、今日はタイブロックは必需品だった。

入渓してからすぐに滝が現れる。リーダーが「登れますか？大丈夫ですか」と心配してくれたので「ロープをお願いします」と言うと、滝の上から御助けひもを出してくれた。

いくつかの滝を越えると、すごく大きな滝が現れた。ガイドブックにより表現が違うが、「2段 10m」とか「2段 15m」のスラブ状の滝だ。ここは各パーティで固定ロープを張り、各自がタイブロックを装着して登った。私は途中で滑落するがタイブロックが効いて少しの滑落で済んだ。「滑るから注意して」と檄が飛ぶ。登り易い所を探しながらなんとか登り切る。怪我は無かったが、心に大きな傷を負って登り続けると、6mスラブ状の滝で、滝上から垂らしてくれたお助け紐を掴む直前で再び滑落し、滑り台の様に浅い滝壺に首まで浸かった。「寒かったら、カップを着れば」とやさしい声をかけて頂くが、寒さを感じる余裕

も無い。最後の 10m 涸滝は、みんなは固定ロープにタイブロックで登ったが、私は怖いので上からビレーしてもらい、必死で登る。

最後の滝を越えれば、詰めは短かった。尾根に這い上がる所が砂地獄の様に登り難く、アドバイスをもらって木の根を掴み這い上がった。

権現山から畦ヶ丸へ続く尾根を少し北に進み、小さなピークをひとつ越えた先に、右に下りる道があった。道標はボロボロになっていて、支柱だけ立っているが、下り口に茶色の土管に案内が書いてあった。この道は西沢から権現山に登る登山道だったが、危険なので廃道になったらしい。だから道標も修理されないのだろう。一部、崩れて歩き難くなっている所があったが、大部分は歩き易い登山道だった。しかし、1 時間足らずで標高差約 500m を下るので脚にはきつかった。いつも「下山は慎重に」と心がけているが、特に沢登りで怪我をしたら「何があった？」と大騒ぎになり、「下山中に転んだ」と知れようものなら、「どうせ、気を抜いたのでろう」と叱責されるのは間違いない。いつも以上に慎重に下った。その為か、西丹沢自然教室に到着したのはバス発車の 10 分前で、バタバタと着替える事になってしまい、歩くのが遅くて大変申し訳ございませんでした。でも、帰りのバスも全員座れて助かりました。そして何より、2 回滑落するも怪我も無く無事下山出来、良かったです。

今回参加させて頂いた、大田山の会の公開山行は、まず参加希望を連絡し、直前の例会に出席し事前の説明を受け、一週間前に日和田山でクライミング・懸垂下降の練習をしたうえでの本番の沢登りと、きわめて準備周到でした。「だれでも参加していいですよ」という案内を真に受けて参加させて頂きましたが、本音では新規会員の獲得が大きいなねらいでしょうから、すでに他の会に所属している私が参加させて頂き、さらに足手まといとなり、すみませんでした。お世話になりました大田山の会のみなさま、本当にありがとうございました。記：S.K



写真 1 の説明：私が滑落した、2 段 10 m のスラブ状の滝



写真2の説明：私がビレーしてもらって登った、最後の10m涸滝